令和元年度
小学校外国語パワーアップリーダー研修

外国語活動学習指導案

第６学年

Unit8「What do you want to be?」

令和２年２月２７日（木）

尾道市立日比崎小学校

尾道市立日比崎小学校　第６学年２組　外国語活動	指導者　パワーアップリーダー　大谷　哲也 ＡＬＴ　Oscar Patzan
単元名　「夢を英語で語ろう！ひびっこスピーチコンテスト～What do you want to be?	
本単元で育成する資質・能力	【思考力・判断力・表現力】【コミュニケーション能力】【自己理解・自らへの自信】

本時のポイント

他学級の児童やお世話になったＡＬＴが書いた英語を読ませることで，読む必然性をもたせ，意欲を高めさせる授業

１　単元について

○　本単元は，将来の夢が題材であり，主な使用言語として“What do you want to be?　I want to be a ～.”を扱い，就きたい職業やその理由を伝え合う表現を学習する。単元のゴールには，ひびっこスピーチコンテストを開き，将来就きたい職業やしたいことをスピーチする活動を設定している。これらの活動を通して，情報を整理しながら自分の考えや思いを形成し，文章や発話によって表現する**【思考力・判断力・表現力】**の育成を図るとともに，目的や場面，状況に応じて伝え方を工夫し，既習の語句や表現を駆使しながら就きたい職業とその理由を伝える**【コミュニケーション能力】**の定着を図ることをねらいとしている。また，スピーチコンテストを通して，自分のよさを自覚し，そのことをはっきりと表現する**【自己理解・自らの自信】**が大切であることに気付かせたい。

　本単元の内容は，総合的な学習の時間「１２才のハローワーク」や図画工作科「１２年後のわたし」と関連があり，それらの学習を通して将来の夢や職業について関心が高まっており，本活動にも主体的に取り組むことができると考える。

○　外国語についてのアンケートの結果，本学級の児童の実態は次の通りであった。

＜外国語活動についてのアンケート（１月下旬実施）より＞

英語でやり取りや発表をする時には，自分の考えや気持ちなどを伝えています。	８５％
英語を読む時には，単語や表現の意味を考えながら読んでいます。	８８％
英語を書いたり読んだりする活動が好きです。	６６％

　本学級の児童は，外国語活動の授業に意欲的に参加しており，「話すこと」に関する項目において多くの児童が肯定的に捉えている。やり取りする様子からも，多くの児童が既習表現を加えたり質問したりするなど，会話を続けようとする意識が高い。しかし，発表になると，間を取りながら話していないなど，聞き手を意識して発表する力には課題が見られる。また，文字学習に否定的な回答をした児童が３割以上おり，書いたり読んだりする活動に楽しみながら参加できていないことが分かる。

○　指導にあたっては，以下の点に留意する。

・英語を書いたり読んだりする活動では，その意義を児童に理解させ，目的意識や見通しをもたせた上で，スモールステップで文字指導を行う。第１時では単語を書かせ，“baseball player”のようにスペースがある単語と“zookeeper”のようにない単語があることや，第２時では文章を書かせ，語と語の間にもスペースが必要であることに気付かせ，単元後半における読んだり書いたりする活動につなげるようにする。

・話し手だけでなく，耳を傾けて反応しながら相手を受け止めることができる聞き手の能力育成に努め，人前で安心してスピーチすることができる学級づくりにつなげる。

＜発表する力を高めるための手立て＞

・単元を通して，児童同士の中間評価を取り入れ，ジェスチャーや表情，間の取り方等，よりよい発表方法を児童自ら気付けるように指導する。

・スピーチコンテストの審査基準を明確にし，単元のゴールに向けて発表の内容や方法を児童同士で高めていけるようにする。

＜主体的な学びにつながる課題発見・解決学習＞

・第１時では，昨年度のひびっこスピーチコンテストの本選の映像を児童に視聴させ，単元の見通しをもたせるとともに，伝えたい意欲を高めさせる。

・第８時では，第７時のスピーチコンテスト予選で互いの夢を伝え合っていない他学級の友達が書いたスピーチ原稿や１学期までお世話になったＡＬＴが書いた手紙を読ませることで，楽しみながら読むことができるようにする。

２　目　標

〇他者に配慮しながら，将来の夢について伝えようとする。　【関心・意欲・態度】
〇将来就きたい職業などについて聞き，その概要を捉える。　【慣れ親しみ（聞く）】
〇将来就きたい職業やしたいこと，その理由などを伝える。　【慣れ親しみ（話す）】
〇将来の夢について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読んだり，例を参考に語と語の区切りに注意しながら書いたりする。　【慣れ親しみ（読む・書く）】
〇世界の子供の夢から，多様な考えがあることに気付く。　【気付き】

３　評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ			言語や文化に関する気付き
	聞く	話す	読む・書く	
〇夢や思いが相手に伝わるように工夫して発表したり，相手の思いを受け止めながら聞いたりしようとしている。	〇将来就きたい職業などについて聞き，その概要を捉えている。	〇将来就きたい職業やしたいこと，その理由などを伝えようとしている。	〇将来の夢について書かれたスピーチ原稿を読んだり，語と語の区切りに注意して書いたりしている。	〇世界には様々な夢をもつ同年代の子供がいることを知り，多様な考えがあることに気付いている。

４　単元のゴール（発表のイメージ）

ひびっこスピーチコンテストで，将来の夢についてスピーチをする場面

５　言語材料（下線は新出）

主な表現	主な語句
① <u>What do you want to be?</u> ② <u>I want to be a（vet）.</u> ③ I like（animals）.　Do you like（animals）? ④ I can（play the piano）.　Can you（play the piano）? ⑤ I am good at（playing the piano）. ⑥ He/She is good at（playing the piano）. ⑦ What（animal）do you like? ⑧ That's good.　Good luck.	<u>職業（artist, astronaut, baker, bus driver, comedian, dentist, farmer, figure skater, flight attendant, pianist, pilot, singer, train conductor, zookeeper）</u> スポーツ，動物，飲食物，状態・気持ち，身の回りの物，教科

６　関連する学習指導要領における領域別目標

読むこと	イ　音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと（発表）	ウ　身近で簡単な事柄について，伝えようとする内容を整理した上で，自分の考えや気持ちなどを，簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
書くこと	イ　自分のことや身近で簡単な事柄について，例文を参考に，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

７　単元計画（全８時間　本時 ８／８）

時	目標（◆），主な活動（○），他教科や行事等との関連（※） その時間で目指す児童の発話例（□）	評価の観点				
		関意態	慣れ親しみ			気
			聞	話	読書	
1	**【課題の設定】【情報の収集】**② ◆スピーチコンテストで将来の夢についてスピーチするという課題意識をもつ。 ◆職業を表す語を聞いて分かる。		◎			○
	☆Small Talk（行きたい国とその理由） ○昨年度のスピーチコンテストの映像を視聴する。 ○P58～59「Let's Watch and Think1」　映像を見て，世界の子供達の将来の夢について，分かったことを誌面に書く。 ○P58～59「Let's Play」　Pointing Game ○Let's Talk　就きたい職業を友達と伝え合う。 ○P64「Let's Read and Write2」①　書く例：I want to be（a pilot）. S1 : I want to be a pilot.　How about you? S2 : I want to be a baseball player. S1 : Sounds good!					
2	**【情報の収集】**①② ◆職業についてまとまった話を聞いて理解したり，就きたい職業を言ったりする。		◎	○		
	☆Small Talk（行きたい国とその理由） ○P60「Let's Watch and Think2」　映像を見て，登場人物の将来の夢について，分かったことを記入する。 ○Let's Talk　就きたい職業を友達と伝え合う。 ○P64「Let's Read and Write2」②　書く例：(I want to be a pilot）.･･･一文全部 S1 : What do you want to be? S2 : I want to be a pilot.　What do you want to be? S1 : I want to be a baseball player. S2 : Sounds good!					
3	**【情報の収集】**①～④ ◆将来の夢について話を聞いて，就きたい職業やその理由が分かる。 ◆就きたい職業とその理由について伝え合う。		○	◎		
	☆Small Talk（就きたい職業とその理由） ○P60「Let's Watch and Think3」　映像を視聴して分かったことを誌面の表に記入する。 ○Let's Talk　どんな職業に就きたいか，その理由について友達と伝え合う。 ○Let's Write　お世話になったＡＬＴの先生に手紙（将来の夢）を書く。 S1 : What do you want to be? S2 : I want to be a pilot.　I like airplanes.　What do you want to be? S1 : I want to be a baseball player.　I can play baseball well. S2 : Sounds good!					

4	【情報の収集】①～⑦ ◆得意なこと・できること，不得意なこと・できないことについて，伝え合う。		○	◎		
	○P61「Let's Listen」　音声を聞いて，誰がどんな夢をもっているかを，理由とともに聞き取り，分かったことを記入する。 ○Let's Talk　得意なこと・できること，不得意なこと・できないことについて，ペアで話す。 ○P64「Let's Read and Write2」③　書く例：I am good at（playing soccer）. S1 : What do you want to be? S2 : I want to be a dancer.　I am good at dancing.　What do you want to be? S1 : I want to be a baseball player.　I am good at playing baseball. S2 : Sounds good!					
5	【整理・分析】①～⑧ ◆就きたい職業について，理由を含めて伝え合う。			○		
	☆Small Talk（就きたい職業とその理由） ○P61「Activity」　ペアになり，どんな職業に就きたいかを尋ね合う。 ○P62「Let's Read and Write1」　誌面に書かれた登場人物のスピーチ原稿を，音声に続いて読む。 S1 : I want to be a baseball player.　I am good at playing baseball. Do you know Ichiro? S2 : Yes, I do. S1 : Oh, nice!　I like Ichiro very much.　He is good at hitting.　I am good at hitting, too. He can speak English.　What do you want to be? S2 : I want to be a pilot.					
6	【まとめ・創造・表現】①～⑧ ◆例文などをもとに，自分の将来の夢について，理由を含めて書く。	○			◎	
	○Let's Write　前時までに書き写した文を参考にしながら，スペースに気を付けてスピーチ原稿を書く。 ○Let's Read　スピーチ原稿を読む。 ○Let's Talk　グループの友達と将来の夢を伝え合う。 S1 : I want to be a baseball player.　I am good at playing baseball. Do you know Ichiro?　I like Ichiro very much. He is good at hitting.　I am good at hitting, too. He can speak English. I want to study English in junior high school.					
7	【実行・振り返り】①～⑧　※スピーチコンテスト（学級） ◆他者に配慮しながら，将来の夢についてスピーチする。	◎		○		
	○聞き手によりよく伝わるように工夫して，将来の夢についてスピーチする。 S1 : Hello.　My name is Taku. I want to be a baseball player.　I am good at playing baseball. Do you know Ichiro?　I like Ichiro very much. He is good at hitting.　I am good at hitting, too. He can speak English. I want to study English in junior high school. What do you want to be?　Thank you.					
他学級の友達に向けて，将来の夢を書いたカードを作成する。（チャレンジタイム）						
8	【実行・振り返り】①～⑧ ◆将来の夢について書かれた原稿を読み，内容が分かる。				○	
	○友達と将来の夢を伝え合う。 ○お世話になったＡＬＴが書いた手紙（将来の夢）を読む。 ○Let's Read　他学級の友達が書いたスピーチ原稿を読み，内容についてコメントを書く。					
P64「Let's Watch and Think4」（チャレンジタイム）						

８　本時の展開

（１）本時の目標

〇将来の夢について書かれた原稿を読み，内容が分かる。　【慣れ親しみ（読む）】

（２）学習の流れ

<table>
<tr><th rowspan="2">学習活動</th><th colspan="2">指導上の留意点（〇）・評価（※）</th></tr>
<tr><th>パワーアップリーダー（Ｔ１）</th><th>ＡＬＴ（Ｔ２）</th></tr>
<tr><td>１　Greetings</td><td>〇英語で挨拶を行うとともに，既習の表現を使って児童とやり取りする。</td><td>〇英語で挨拶を行い，外国語活動の始まりの雰囲気をつくる。</td></tr>
<tr><td>２　Activities
①　Let’s Chant</td><td>〇P58「What do you want to be?」を，リズムに乗って言う。</td><td>〇リズムに乗って児童と一緒に言う。</td></tr>
<tr><td>②　Let’s Talk</td><td colspan="2">S1 : Hello.　My name is Taku.
I want to be a baseball player.　I am good at playing baseball.
Do you know Ichiro?　I like Ichiro very much.
He is good at hitting.　I am good at hitting, too.
He can speak English.
I want to study English in junior high school.
What do you want to be?　Thank you.
S2 : You want to be a baseball player.　That’s good.
What team do you like?
S1 : I like Hiroshima Toyo Carp.　Do you like Hiroshima Toyo Carp?
S2 : Yes, I do. ･･･</td></tr>
<tr><td></td><td>〇聞き手には，感想の言葉を付け加えたり，質問をしたりしながら聞かせ，相手意識のあるやり取りにさせる。
〇学級の友達が書いたスピーチ原稿を提示し，全体で読ませることで本時のめあてにつなげる。</td><td>〇将来の夢について話し，児童を会話に巻き込む。
〇感想の言葉を児童に挙げさせ，全体で共有することで，児童同士のやり取りで使えるようにする。</td></tr>
<tr><td>③　Today’s goal</td><td colspan="2">スピーチ原稿を読んで，書き手の思いや考えを知ろう。</td></tr>
<tr><td>④　Activity Ⅰ</td><td colspan="2">【お世話になったＡＬＴの先生からの手紙を読もう】
①　ＡＬＴの先生が児童に向けて書いた手紙を読む。
②　読むときのポイントを確認する。</td></tr>
<tr><td></td><td>〇児童にとって身近な人が書いた文章を読ませることで，推測しながら読むことができるようにする。
〇２種類の手紙を比較させることで，文字には相手を意識した書き手の思いが込められていることに気付かせる。</td><td>〇実際に文字を書いて児童に提示することで，伝える相手によって文字の形が違うことを確認する。</td></tr>
</table>

	○“I want to be ～.”や“I like ～.”などの表現の後ろに伝えたい内容（読み手の知りたい情報）が書かれていることや，単語の最初の文字やその音を頼りにしてその語句の読み方を推測することなど，読む際のポイントを確認する。	○単語の最初の文字やその音の読み方を確認し，読む際のポイントを確認する。 ○手紙を読み，児童にリピートさせることで，文字と音声を一致させる。
⑤ Activity Ⅱ	【Let's Read and Write　学年の友達が書いた将来の夢を知ろう】 ① これまでやり取りをしていない他学級の友達のスピーチ原稿を読む。 ② 読んで分かったことや書き手に向けたメッセージを書く。 ③ 読み手の児童は自分の夢を書き，スピーチ原稿の書き手に伝える。	
	○これまでやり取りしていない他学級の友達の原稿を読むことを確認し，読む意欲を高めさせる。 ○友達のスピーチ原稿を読ませた後に，自分の将来の夢を書かかせることで，文字を通してコミュニケーションを取ることができるようにする。 ※将来の夢について書かれたスピーチ原稿を読んでいる。【慣れ親しみ（読む)】（メッセージカード）	○読むことに困っている児童に対して，単語の最初の文字の音を聞かせながら支援する。 ○机間指導を行い，児童が書いた夢に対して，“You want to be a teacher. Nice!”などと言って，コミュニケーションを図る。 ※将来の夢について書かれたスピーチ原稿を読んでいる。【慣れ親しみ（読む)】（メッセージカード）
3　Feedback	○本時のねらいが達成できたか自己評価させ，達成感をもたせる。	○簡単な英語で児童の頑張りを評価する。
振り返り：スピーチ原稿を読むことで，他のクラスの友達の将来の夢を知ることができた。 文字を通して，書いた人の思いや気持ちを知ることができて楽しかった。		
4　Greetings	○お互いの頑張りを認め合うとともに，感謝の気持ちを表現させる。	○英語で挨拶をする。

9　板書計画

2/27　夢を英語で語ろう！ひびっこスピーチコンテスト～What do you want to be?～

Today's goal　スピーチ原稿を読んで，書き手の思いや考えを知ろう。

I　want to　be　a

絵カード　絵カード　絵カード
絵カード　絵カード　絵カード
絵カード　絵カード　絵カード
絵カード　絵カード　絵カード

Unit's goal
・スピーチコンテストで，将来の夢を発表する。
・スピーチ原稿を書く。

My Dream

I want to be an engineer.　単語の最初の文字とその音

I like math and science.　I like や I want to be の後の単語

I'm good at drawing pictures.

Thank you.

Erik